

経営概況

2018年3月期 第3四半期の業績

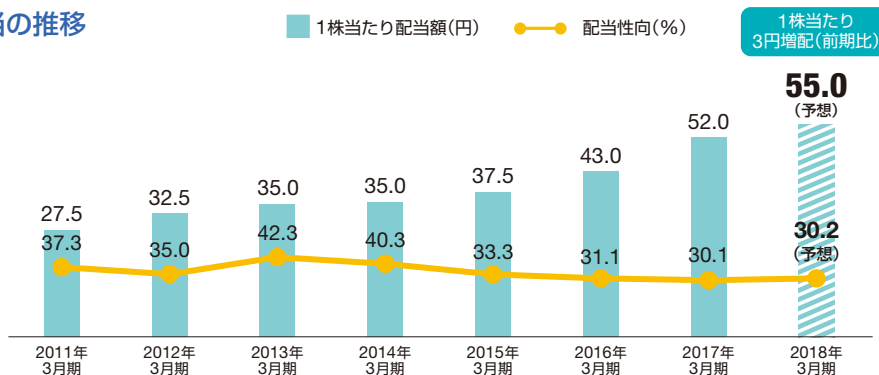
当第3四半期連結累計期間（2017年4～12月）におけるわが国経済は、政府の経済政策、日銀の金融緩和策の継続等を背景に、雇用・所得環境の改善が進む中、個人消費に持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調で推移しております。一方、米国の政策動向やアジア諸国の経済情勢、地政学的リスクの高まり等から、今後の景気については、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループ（当社、連結子会社および持分法適用関連会社）の主な事業分野である携帯電話等販売市場では、通信事業者による新料金プランの提供、サブブランドやMVNO（仮想移動体通信事業者）の普及により、お客様の選択肢が広がりました。

このような事業環境下、当社の携帯電話等販売台数は、332万台と前年同期を上回り、スマートデバイスの販売比率は8割を超えております。当社の生産性向上のため変形労働制を活用するとともに、店舗においては定休日や年末年始における休業日の設定、営業時間の短縮等、「働き方改革」の取り組みを継続し、ESや定着率の向上を図りました。さらに、各事業セグメントにおいて引き続き新たな収益基盤の構築に努めました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高4,008億52百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益99億83百万円（同6.7%増）、経常利益100億46百万円（同7.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益66億28百万円（同1.9%増）となりました。

配当の推移

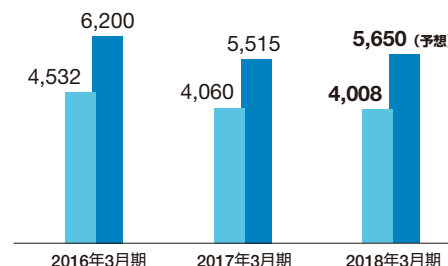


※上記の数値につきましては、過去に実施いたしました株式分割を勘案した数値を掲載しております。

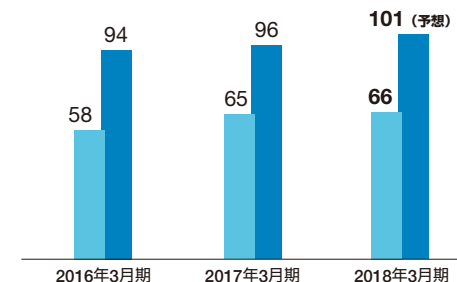
第3四半期連結業績ハイライト

■ 第3四半期（累計） ■ 通期 （単位未満切捨て）

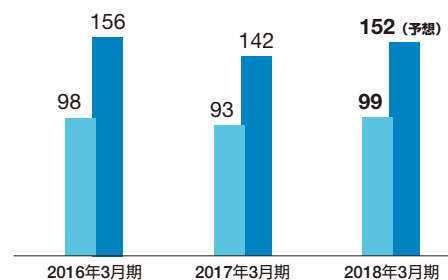
売上高 (億円)



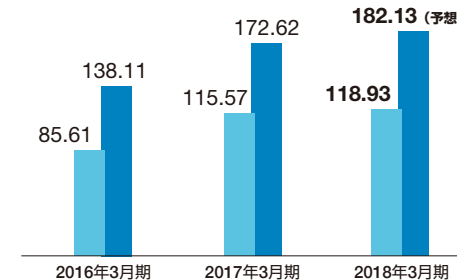
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (億円)



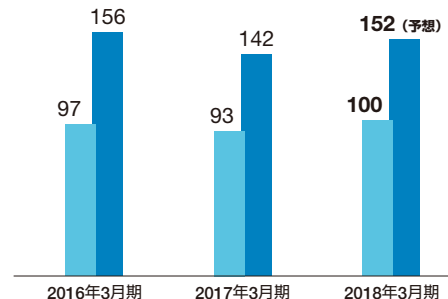
営業利益 (億円)



1株当たり四半期(当期)純利益 (円)



経常利益 (億円)



純資産 (億円)

